



平成28年11月25日

各位

上場会社名 積水樹脂株式会社
 代表者名 代表取締役会長兼CEO 福井彌一郎
 (コード番号 4212 東証第1部)
 問合せ先 コーポレート部 古澤英吉
 (TEL 06-6365-3204)

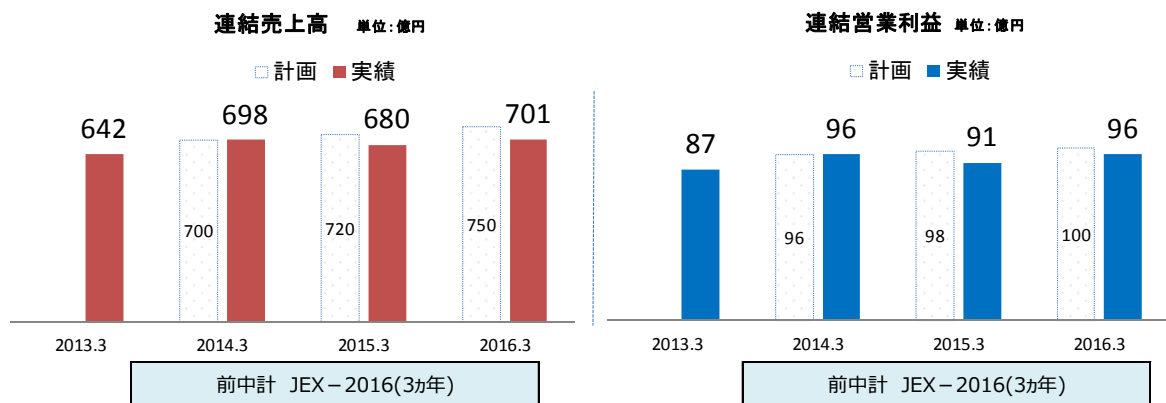
積水樹脂グループ 経営ビジョン2020 3rdステージ「中期経営計画」の策定について

当社グループは、2020年3月期を最終年度とする新たな「中期経営計画」(4ヵ年)を策定いたしましたので、その概要を下記のとおりお知らせいたします。

記

I. 前中期経営計画「JEX-2016 (Jushi-Expansion 2016)」の振り返り

当社グループは、2013年度より3ヵ年の中期経営計画「JEX-2016」を策定し、基盤事業の強化とともにM&A戦略、グローバル戦略を推進してまいりました。M&A戦略は日本ライナー(株)の経営権を取得し、国内標示材事業の拡大を推進いたしました。また、前中期経営計画「JEX-2013」のグローバル戦略の一環として取得したセキスイジェシ(タイランド)Co.,Ltd、及びビーメックスB.V.(ジスロン(ヨーロッパ)B.V.に経営統合)は業績を拡大しました。しかしながら、国内の公共事業の低迷や事業環境の激変に対応できず、増収増益は果たしたものの計画未達成となりました。その反省を生かし、ターゲットとする事業領域を明確化した新たな中期経営計画を策定し、更なる成長を目指し取り組んでまいります。



II. 経営ビジョン2020 3rdステージ「中期経営計画」 基本方針

公共事業を取り巻く環境の激変に対応する為、民間分野への経営資源の配分を高めながら体制づくり・投資による基盤強化を図り、当社グループの総力を結集し、2010年策定の「経営ビジョン2020」の3rdステージとして「基盤事業の進化と総合」「グローバル展開の拡大」「新事業創出」などにより拡大基調を継続し、「複合技術を活かした安全・安心、環境保全に貢献するモノづくり」によって信頼される“Hybrid Value Company”を目指します。

- ・期 間 : 2017年3月期～2020年3月期(4ヵ年計画)
- ・キーワード : 総合力・巻き込み力・スピード力
- ・基本姿勢 : 公共から民間へ方向転換を図る
(2020年3月期 連結売上高構成比率: 民間部門70%、公共部門30%)
進化と総合

III. 数値目標

(1) 主要な経営指標	2020年3月期目標	経営ビジョン2020
・連結売上高目標	1000億円 (701億円)	1000億円
・連結営業利益目標	120億円 (96億円)	120億円
・ROE	8.2% (7.9%)	10.0%
・配当性向	27%以上 (25.3%)	25%以上

※()内は2016年3月期実績

(2) 投資金額の目標

- ・M&A投資額：150億円（4ヵ年）
- ・連結設備投資額：80億円（4ヵ年）

IV. 基本施策と戦略

基本施策

◆コア事業の進化

時代のニーズに則してコア事業を発展・進化。

強化領域「進化」7テーマ+「総合化」3テーマを中心とした製品開発を産学連携・ベンチャーの活用・M&Aを駆使しながら展開します。

- [進化] 7テーマ ①観光 ②防災・減災 ③補修・メンテナンス ④鉄道
⑤リフォーム・リノベーション ⑥リサイクル・リユース・減容
⑦健康・癒し

- [総合化] 3テーマ ①スポーツ施設 ②アグリ・獣害 ③工場の安全・安心

◆総合力の強化

当社グループの最大の強みである幅広いドメインと製品群を最大限に活用。事業部門間の縦割りを廃し横串を入れて、お客様ソリューションのために当社グループ製品の総合提案を強化します。

基本戦略

(1) グローバル戦略 ～アジア・オセアニアと欧州に特化～

[アジア・オセアニア戦略]

- ・セキスイジュシ（タイランド）Co.,Ltdにおいて、自動車向け成型品及び金型事業の次の事業の柱として「組立パイプシステム」（スぺーシア株）製品の海外事業化を推進、また商社機能を持たせてASEAN諸国への当社グループ製品の販売拡大を推進します。
- ・本格生産を開始したセキスイジュシプラメタル（タイランド）Co.,Ltdの販売を強化、「アルミ樹脂積層複合板」と共に、装飾建材「メタカラー製品」を販売し、アジア・オセアニアの建築需要を開拓します。

[欧州戦略]

- ・ジスロン（ヨーロッパ）B.V.は順調に拡大を続ける交通安全用品の更なる拡大に向けて、M&Aを含めた事業拡大を推進します。
- ・セキスイジュシストラッピングB.V.は梱包用バンド事業から総合物流事業への拡大を図り、当社グループ製品を駆使して工場ソリューションビジネスを展開します。

(2) 新事業戦略

【リサイクルシステム】

梱包結束用バンド、人工木材、農業資材、防音壁などコア製品のリサイクルシステム構築により新たなビジネスモデルを確立し、ユーザーの囲い込みと環境保全の両立を実現します。また、リサイクル材料の減容ビジネス（裁断機・圧縮機等）にも取り組んでまいります。

【工場内安全製品の開発・上市】

道路や都市・住環境分野で長年培ったノウハウを活かし、「工場の安全・安心」分野の製品を開発し、安全柵や安全用品など工場内通行や生産現場における安全・安心を提供します。

【補修・メンテナンス事業の拡充】

公共事業は、予算が集中する国土強靱化並びにインフラ長寿命化対策分野に注力。当社グループの施工技術も活用しながら、提案から施工までワンストップでの対応を進めます。また、公共施設管理の省人化・省力化に繋がるロボット技術やセンサー技術を組み合わせた製品開発に注力してまいります。

【公民連携事業】

近年増加している「公民連携スキーム」（民間による公共施設の設計・建設・維持管理・運営）もターゲットとして保守・運営マネジメント事業など“公共と民間の中間的事業”に対する取り組みも推進します。

(3) M&A戦略

欧州、アジア・オセアニアにおける更なる海外事業拡大及び国内事業強化領域を、スピードをもって実行するためM&A投資を積極的に取り組んでまいります。

(4) 2020年の東京オリンピック・パラリンピック関連需要への取り組み

- ・競技場及び競技場周辺への夏季対策、観光客の快適性・利便性を追及した製品開発を推進。また、各地の強化練習施設等への競技開催後のレガシー関連事業に対する製品提案活動を行ないます。
- ・今後各地で高まるスポーツ振興需要に対し、スポーツ周辺設備・器具等製品を拡充します。

V. 積水樹脂グループのCSR

(1) コーポレート・ガバナンスの強化

社外役員の増員。（2016年6月29日付実施）

(2) 社会貢献活動

国連生物多様性の10年日本委員会への寄付活動、交通遺児育英会への寄付活動や森林保全活動など継続性をもって取り組んでまいります。

(3) CSV（Creating Shared Value）の強化

社会的課題の解決に向け、減災防災対策、交通災害対策や地球温暖化抑制対策製品の開発を強化してまいります。

以上